

第8回東アジア首脳会議参加国外相会議
議長声明（骨子）

2018年8月4日

【東アジア首脳会議（EAS）のレビュー及び将来の方向性】

・「EAS 10周年記念クアラルンプール宣言」に沿って、東アジアの平和、安定及び経済の繁栄を促進するという目的の下、共通の関心及び懸念事項である、幅広い戦略、政治及び経済上の共通の関心及び懸念事項に関する対話を行う首脳主導のフォーラムとして、EASを更に強化していくことに対するコミットメントを再確認。（パラグラフ2）

・EASにおけるASEANの中心的役割を再確認し、EASがASEAN主導の地域枠組みの不可欠な構成要素であり続けることを確保するため、全てのEAS参加国と緊密なパートナーシップの下で協力していくことに対するASEANのコミットメントを再確認。EASは、ASEANを原動力として、グローバルな規範及び国際法の普遍的な原則を強化する、開放的で、包摂的で、透明かつ外に目を向けるフォーラムであり続けることを改めて表明。（パラグラフ3）

・EASの取組のプロセスを強化するための継続中の取組を歓迎。ジャカルタのEAS大使級会合（EAMJ）の重要な役割に対する支持を表明。EASにおける連携と協力を促進し支援するためのASEAN事務局内のEASユニットの更なる強化を歓迎。EAS首脳間のより率直かつ本質的なやり取りを促進するためのフォーマットの創設を含むEASを強化するためのシンガポールのEAS議長国としての取組を評価。（パラグラフ4）

・EASウェブサイトの立上げを歓迎。（パラグラフ5）

【協力分野】

・海洋協力等を新たな協力分野として含む形での「EAS開発イニシアティブに関するポンペン宣言の推進のためのマニラ行動計画」の採択を歓迎。「マニラ行動計画」の実施を確保するための資金源を探求するとの提案に留意。（パラグラフ6）

・持続可能な開発のための2030アジェンダのグローバルな達成の重要性を再確認。東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）の設立10周年並びにそのASEAN及び東アジアにおける経済統合の深化、開発格差の縮小及び持続可能な開発の達成に向けた貢献を賞賛。（パラグラフ7）

(環境及びエネルギー) : 略

(教育) : 略

(金融) : 略

(国際保健及び感染症) : 略

(防災) : 略

(ASEAN連結性)

・「ASEAN連結性マスタープラン2025」の効果的な実施に向けたASEANの取組に対して支持を表明。地域における連結性に関する様々な戦略の更なる相乗効果を促進させることの重要性を強調。地域における貿易、投資及びサービスにおける競争力を高めるために東アジアにおける国際スタンダードに則った持続的で質の高いインフラを推進することの重要性を再確認。ASEANスマートシティ・ネットワークの構築を歓迎し、ASEANにおけるスマートシティ開発のための枠組み及び都市別の行動計画の策定に向けた進展に支持を表明し、ASEAN加盟国でないEAS参加国と、ネットワークに組み込まれた都市との緊密な協力を期待。(パラグラフ16)

(経済協力及び貿易)

・東アジア地域包括的経済連携(RCEP)交渉を前進させるための進展に留意し、現代的で包括的な、質の高い、互恵的な協定の妥結に期待。(パラグラフ18)

(海洋協力)

・実際的かつ包括的な行動体系が含まれたマニラ行動計画の下での新たな協力分野に海洋協力が含まれたことを歓迎。「地域の海洋協力強化に関するEAS声明」に沿ったASEAN主導のメカニズムを通じた集合的かつ全体的アプローチによるEAS参加国間の海洋協力の強化に対する支持を表明。開かれ実質的な対話に建設的に取り組むための実効的なプラットフォームとしてのASEAN海洋フォーラム拡大会合(EAMF)の役割を活用するとの提案に留意。(パラグラフ19)

(その他)

・情報通信技術(ICT)及びその活用における安全保障の重要性を強調し、平和的で、安全で、開放的で、協調的かつ相互運用性のあるICT環境を促進するとともに能力構築及び国家間の信頼醸成を通じて紛争及び危機のリスクを最小化させるための協力の強化の必要性を再確認。国際法、自発的でかつ拘束力のない責任ある国家の行動に係る規範、信頼醸成措置及び協調的な能力構築プログラムに則ったルールに基づくICT環境の構築を促進す

ることのコミットメントを再確認。(パラグラフ 2 1)

・伝統的及び非伝統的な安全保障課題に取り組むための地域協力を強化することへのコミットメントを再確認。(パラグラフ 2 2)

・様々なインド太平洋構想について意見交換を実施。ASEAN 中心性, 開放性, 透明性, 包摂性及びルールに基づくアプローチといった基本原則を包含し, 相互信頼, 相互尊重及び相互利益に資する様々なインド太平洋構想について更に議論していくことを期待。(パラグラフ 2 3)

【地域及び国際情勢】

(北朝鮮)

・2018年4月27日及び5月26日に開催された南北首脳会談, 2018年6月12日のシンガポールにおける米朝首脳会談を歓迎。また, 文在寅(ムン・ジェイン)韓国大統領と金正恩(キム・ジョンウン)朝鮮民主主義人民共和国国務委員長との間で署名された板門店宣言文及びドナルド・J・トランプ米国大統領と金正恩委員長との間で署名された共同声明を歓迎。全ての当事者に対し, 板門店宣言文及び米国と北朝鮮の首脳による共同声明の完全かつ迅速な履行を通じたものを含む非核化された朝鮮半島の恒久的な平和と安定の実現に向けた取組を続けることを求めた。また, 北朝鮮に対し, 北朝鮮が表明した完全な非核化へのコミットメント並びに更なる核及びミサイルの実験を自制するとの約束を履行することを求めた。全ての関連する国連安保理決議の完全な履行及び地域における平和と安定に資する朝鮮半島の完全な, 検証可能な, かつ, 不可逆的な非核化を実現するための国際的な取組へのコミットメントを改めて表明。複数の閣僚が, 拉致問題の解決を含む国際社会の人道上の懸念に対処することの重要性を強調。(パラグラフ 2 4)

(南シナ海)

・南シナ海における平和, 安全保障, 安定, 安全並びに航行及び上空飛行の自由を維持・促進することの重要性を再確認するとともに, 南シナ海を平和, 安定及び繁栄の海とすることの利益を確認。南シナ海行動宣言(DOC)全体の完全かつ実効的な履行の重要性を強調。ASEANと中国との間の改善している協力関係を温かく歓迎し, 相互に合意されたタイムラインでの実効的な南シナ海における行動規範(COC)の早期妥結に向けた実質的な交渉の進展に勇気づけられた。ASEAN加盟国及び中国がCOC交渉のための一つのテキスト案に合意したことに留意。この関連で, COC交渉に資する環境を維持することの必要性を強調。ASEAN諸国と中国による南シナ海における海洋危機管理のための外交当局間ホットライン試行の成功及び2016年9月7日に採択された南シナ海における「洋上で不慮の

遭遇をした場合の行動基準」(CUES)の適用に関する共同声明の運用開始のような、緊張を緩和し、事故、誤解、誤算のリスクを減少させ得る実際的な措置を歓迎。また、特に当事者間の信用及び信頼を強化する信頼醸成及び予防措置の実施の重要性を強調。(パラグラフ25)

・南シナ海に関する事項について議論し、信用及び信頼を損ない、緊張を高め、この地域における平和、安全保障及び安定を損ない得るこの地域における埋立てや活動に対する懸念に留意。相互の信用及び信頼を高め、活動の実施に当たっては行動を自制し、状況を更に複雑化させ得る行動を回避し、国連海洋法条約(UNCLOS)を含む国際法に従って、紛争の平和的解決を追求することの必要性を再確認。非軍事化及びDOCにおいて言及された事項を含む、南シナ海における状況を更に複雑化し、緊張を高め得るクレイマント国やその他の国による全ての活動の自制の重要性を強調。(パラグラフ26)

(暴力的過激主義・急進化・テロ対策)

・テロ対策に関するASEAN憲章、国連グローバル・テロ対策戦略及び関連国連安保理決議に基づき、国、地方及び地域レベルの取組及び対策の効果的な実施を通じ、暴力的過激主義、急進化及びテロ並びに外国人戦闘員による脅威と戦うとのコミットメントを再確認。予防教育、女性、若者及び市民社会の関与、平和、寛容、多様性及び中庸の尊重並びにインターネットを含むICTのテロ活動のための悪用の防止を通じて、この問題に取り組むに当たり、全社会的なアプローチの重要性及び有効性を再確認。(パラグラフ27)